

「豊能町地域公共交通社会実験計画」の概要について

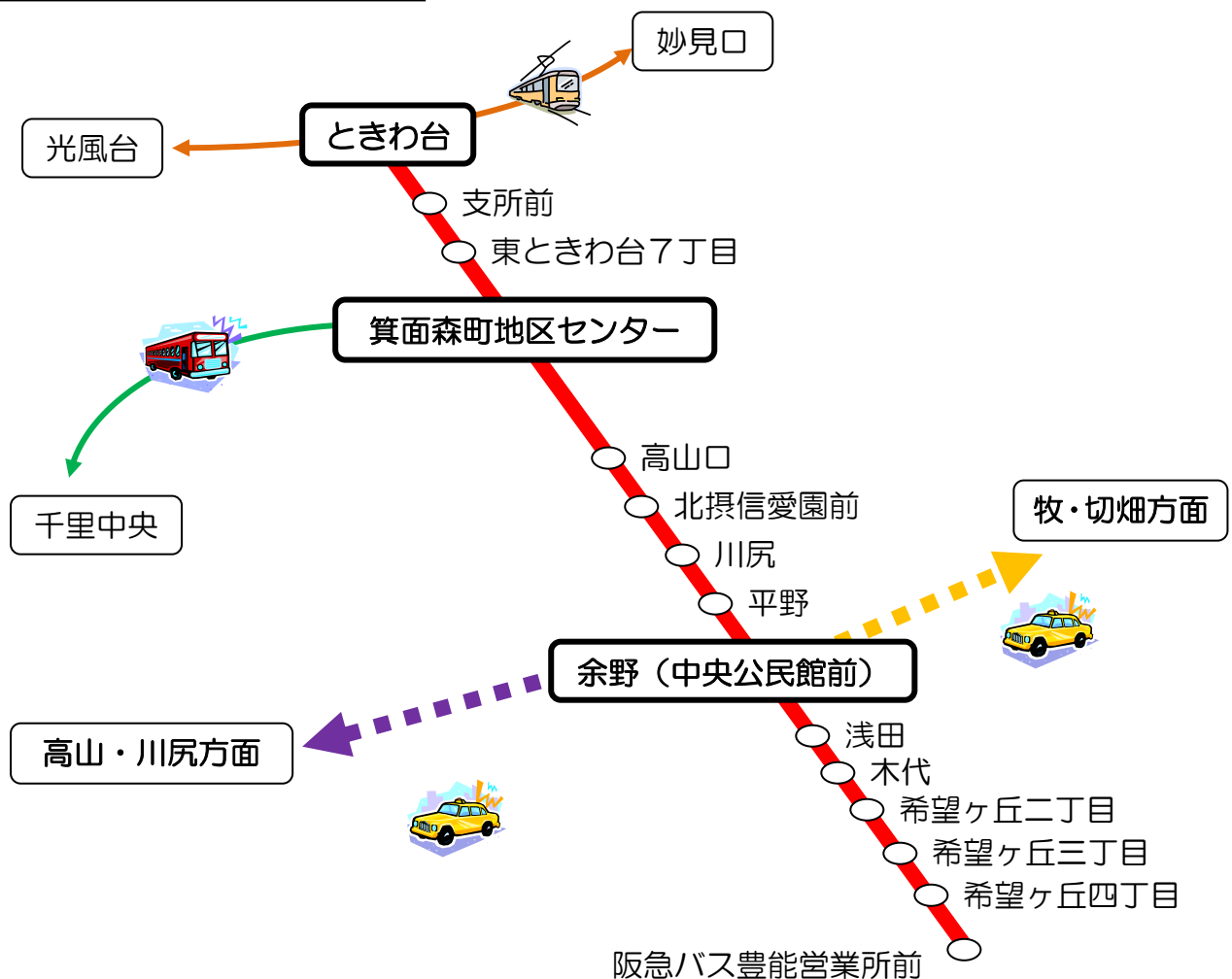
豊能町では、財政再建策の一つとして豊能町巡回バスの全面的な見直しを検討してまいりましたが、このたび「豊能町地域公共交通社会実験計画」を策定し、さらなる見直しに向けた社会実験運行を行うこととなりました。

（「豊能町地域公共交通社会実験計画」は町ホームページのほか、役場1F 情報公開コーナー・企画政策課、吉川支所、豊能町立図書館、豊能町立中央公民館図書室で閲覧することができます。）

1. 社会実験運行について

社会実験運行では、東西間を結ぶバスの運行と、そのバスに接続する東地区デマンドタクシーの運行を実施します。

社会実験運行概略図



①東西間バス運行（太線）

- ・ときわ台駅で能勢電鉄と接続
- ・箕面森町地区センターで阪急バス箕面森町線と接続
- ・平日16便、休日10便の運行
- ・初乗り150円、上限200円（小人は半額・但し10円未満切り上げ）

②東地区デマンドタクシー運行（点線）

- ・余野で東西間バスに接続
- ・平日各路線6便、休日各路線4便
- ・電話予約により運行
- ・利用料金 200円（小人100円）

（デマンドタクシーは、予約のあった停留所のみを走行する、乗合いタクシーです。利用者の少ない地域の新たな交通手段として注目されています。）

【詳細は関係機関との協議等で変更となる場合があります】

路線見直しに伴い、次のバス運行は休止します

- ・東地区巡回バス及び西地区巡回バスの全線
- ・東西巡回バスの内、支所前－シートス、ときわ台3丁目、ときわ台5丁目、支所前－妙見口駅－豊悠プラザの各停留所

2. 社会実験の検証とさらなる見直しについて

社会実験による運行は、約1年間実施し、利用者数や収支率などの指標により実績を評価します。その検証結果を踏まえ、運行継続の是非や内容のさらなる見直しを検討します。

なお、社会実験による評価と見直しは、行政だけでなく、住民、学識経験者、交通事業者等による第三者機関「豊能町地域公共交通会議」で行います。

【社会実験実施スケジュール】

H23.2	社会実験実施決定
H23.2～	地域公共交通会議等の法定協議（デマンド）及び運輸局等関係機関の手続き
H23.7	運輸局等関係機関の手続き完了後、実験運行の開始
H23.8～	利用者実績やアンケート等による検証
H24.7～	社会実験評価とさらなる見直しの検討

実施年月は関係機関の手続き、調整により前後します。

今後の諸手続き、実施期日や時刻表等の詳細は、随時、広報やホームページ等でお知らせします。